

公共施設の検討に係る進め方について

平成 28 年度

平成 29 年度

スポーツ施設の進め方

現状と課題

スポーツ施設

- 【現状】**
- 施設更新の時期や設備改修の検討を要する施設がある。
 - 3つの町営プールのうち、袖が浦プールを休止としている。
 - 運営費用の負担が大きい施設がある。
 - 使用頻度の低い室がある。
- 【課題】**
- 廃止を検討する場合の機能移転先の確保。
 - 利用率を高める運用プログラム開発。
 - 重複機能の整理。
 - 低利用室の活性化、有効利用促進。
 - 財政負担の軽減化。

検討課題の集約

- 現況調査による、施設状況の把握。
- 施設総量縮減に伴う町事業の実施場所や活動場所が限定されるスポーツ活動の場の確保。
- 民間のノウハウを利用した施設運営。

実施計画(案)

- ◎シンボル事業
- スポーツ施設への指定管理者制度の導入によるサービスの向上、運営経費の削減。
 - 更新時期にあわせた施設別方針の策定。
 - 3つの町営プールの統廃合。
 - 低利用室や重複施設の見直しによる施設の有効利用。

検討事項

- 指定管理者制度について
- 導入にあたってのメリットの確認、デメリットに対する対応
 - 導入にあたって町が実施しなければならない事務
 - 制度導入による水準や数値の項目 など
- 施設更新、設備改修について
- 費用の捻出、削減
 - 施設別の更新時期
 - 受益者負担
 - 廃止した場合の跡地利用

その他施設の進め方

文化施設等

- 【現状】**
- 老朽化施設は早急な耐震改修等の施設保全を検討する必要がある。
 - サークル活動、各種イベントに幅広く利用されている。
 - 稼働率の低い室がある。
- 【課題】**
- 廃止を検討する場合の機能移転先の確保。
 - 利用率を高める運用プログラム開発。
 - 重複機能の整理。(ホール等)
 - 低利用室の活性化、有効利用促進。
 - 児童数の減少に伴う、教育施設の配置。

地域集会施設

- 【現状】**
- 児童館や老人憩の家は地区が管理し、防災コミセンは町が主に管理している。
 - ふれあいサロンや地域ミニデイサービスとして利用している施設がある。
- 【課題】**
- 現行の耐震基準に準拠していない施設がある。
 - 将来人口と施設数の検討。

- 現況調査による、施設状況の把握。
- 施設総量縮減に伴う町事業の実施場所や活動場所が限定される活動の場の確保。
- 民間のノウハウを利用した施設運営。
- 児童数の将来人口推計。

- ◎シンボル事業
- 施設の統廃合の検討(駅前町民会館等)

- 学校教育施設の適正配置は、町教育委員会が中心となり、児童・生徒数の減少を踏まえた学校のあり方を検討する。
- 検討内容は、公共施設再配置と共有する。

- 将来人口推計に基づく適切な施設配置。
- 将来に向けた適切な運営方針。

- 地域集会所の削減。
- 地域集会所の将来的な地区への移管。

- 公共施設の予約方法の検討
- 統一的な予約方法
 - 施設情報の充実
 - 施設利用の多様化を図る
- 施設更新、設備改修について
- 費用の捻出、削減
 - 施設別の更新時期
 - 受益者負担
 - 廃止した場合の跡地利用

民間企業の参画可能性調査を実施(市場調査)【マーケットサウンディング】

町民ワークショップ・町民アンケートで詳細等を検討

実施計画の策定